

編集・発行 NPO法人 大谷石研究会

〒321-0345 栃木県宇都宮市大谷町350番地
 (有限会社 高橋佑知商店内)
 TEL028-652-0005 FAX028-652-5374
 http://www.ooyaishi.org/
 mail:info@ooyaishi.org

編集責任者 小野口 順久

大谷町おこし憲章

- 一、大谷石百選を選定し、大谷石の素晴らしさを広めます。
- 二、大谷石を使用した美術、工芸、建築資材などの開発支援を行います。
- 三、大谷町の美化運動と大谷石産業の復活を支援します。
- 四、日光杉並木と大谷石遺跡、大谷石建造物の世界遺産への申請・登録を目指します。



営業 ■ 19:00~4:00
 住所 ■ 栃木県小山市中央町3-11-5
 電話 ■ 0285-39-7319
 定休日 ■ 未確定

店主の強いこだわりが、心地よい空間と時間をつくる
 Bar 御入(おいり)



JR小山駅西口を出て南へ、ロープウェイを越すと静かな飲食店街の一角がある。その中の1店舗周辺は静かな雰囲気の中、店には看板も何もない。
 アーチ型の入口に明かりが灯り、午後7時開店の時間だ。くぐり戸を開け中に入ると、左手に2階まで続く重厚な大谷石造りの壁、右手に広いカウンターその奥にはこだわりのグラスリキュールなど見事に並ぶ。カウンターの向かいには小さなボックス席が二つ、正面の廊下にある本棚を開けるとそこには数名が入れるボックス席、心憎い演出である。
 店内数ヶ所に取り付けられた欄間、こだわり抜いた手作りの椅子、庄巻は2階のトイレ。トイレの概念を変えられてしまいたい。オーナーの作るカクテルは私達取材陣を唸らせた。どれをとっても美味しく、つまみの出し方も洒落ていた。



営業 ■ 10:30~19:00
 住所 ■ 宇都宮市日の出1丁目1-14
 電話 ■ 028-632-7222
 定休日 ■ 木曜日

大谷石の倉庫がコーヒーの人気店
 珈琲 大和屋 日の出店

宇都宮市内から大通り裁判所前の信号を南へ、平成通りを直進東武線のガードをくぐると右手に大谷石造りの店舗が目に入る。今年3月1日にオープンしたばかり、元々、西原小学校の北の店舗で13年ほど営業し、地域の人々に愛されたお店であった。オーナーの坂本泰弘氏による「大谷石造り」へのこだわりがあり、偶然知人の紹介でこの倉庫を紹介されたとのこと。元は菓子問屋の倉庫であったそうだが、移転してからの苦勞が様々あったとのこと。店内は広く、とても商品が見やすいように工夫されている。
 商品の数にも圧倒される。石挽きにて豆をひいてくれる。店内はとてもいい香りに包まれる。
 オーナーの素敵な笑顔とそのまぶさのお店の雰囲気一杯のコーヒーに表れている。



会員紹介

新会員:渡邊知樹さん



大谷石バスツアーに参加しました!

この頃、孤立老人という言葉をよく耳にします。寿命が延び、核家族化が進み、さらに生涯独身者が増加して、その増大が予想されます。孤立化は認知症になりやすいとか。実は、私は62歳で、結婚したことがなく、自宅もマンションで近隣との接触はありません。宇都宮市内で司法書士事務所を開いていますが、最近両親を亡くしたことや、年齢が上がって人に会うのが億劫になったり

で、近ごろは専ら知人の弁護士や税理士からの仕事をしています。思うに、まさに孤立老人予備軍です。最近、多少の恐怖感もあって、これではマズイと思うようになり、また表に出ることにしました。比較的人の役に立ちやすい職業でもあり、永年の知識や経験をただ墓場に持っていただけでは少々もったいないし。そこで、手始めに、専門家の解説を聞きながら遺構や建造物を見て回れるのは大変結構なことと、2月に大谷石研究会へ入会の申し込みをしました。

前置きが長くなりましたが、3月26日のバスツアーは、まず大谷地区の屏風岩から大谷資料館、高橋佑知商店を回り、さらに大谷石の街並みが残る上田町集落、芦沼町集落を見て回りました。途中で昼食をとったろまんちつく村でもふんだんに大谷石が使われ

ていました。ずいぶん前から行政や地域住民の方が、大谷振興のため努力されてきたことを感じます。崩落事故のこともあり、さびれた印象を持っていましたが、古い建造物が撤去され更地が広がっていました。街のデザインがしやすくなり、街おこしには好機でしょうか。また、産業遺産としてだけでなく、結果として残された風景は松島のような景勝地の趣もあります。また、宇都宮市が募集した定員30名に対し8倍の応募があったとか。ふるさと志向の追い風でしょうか。努力された方々に敬意を表します。

バスツアーには音羽シェフも参加され、大谷石研究会会員の多士済々さを感じます。多くの方々にお会いできることを楽しみにしております。

よろしく願い申し上げます。